

# やさいレポート（令和7年12月号）



## トマト



発行日：令和7年12月5日

### 1. 卸売価格の動向

○753 円/kg（12月2日）

➢ 平年比：156%

○12月の価格見通し

平年を上回って推移

（農林水産省、東京都中央卸売市場）

### 2. 小売価格の動向

○1234 円/kg

（11月14日全国平均）

➢ 前月比：106%、平年比：139%

➢ 東京：622 円（5玉）

➢ 大阪：243 円（1玉）

○特売店舗数／調査店舗数

➢ 東京：5/20（前月9/20）

➢ 大阪：2/10（前月4/10）

（機構調べ）

### 3. 家計消費動向

○199 g/人（10月全国平均）

➢ 前月比：82%

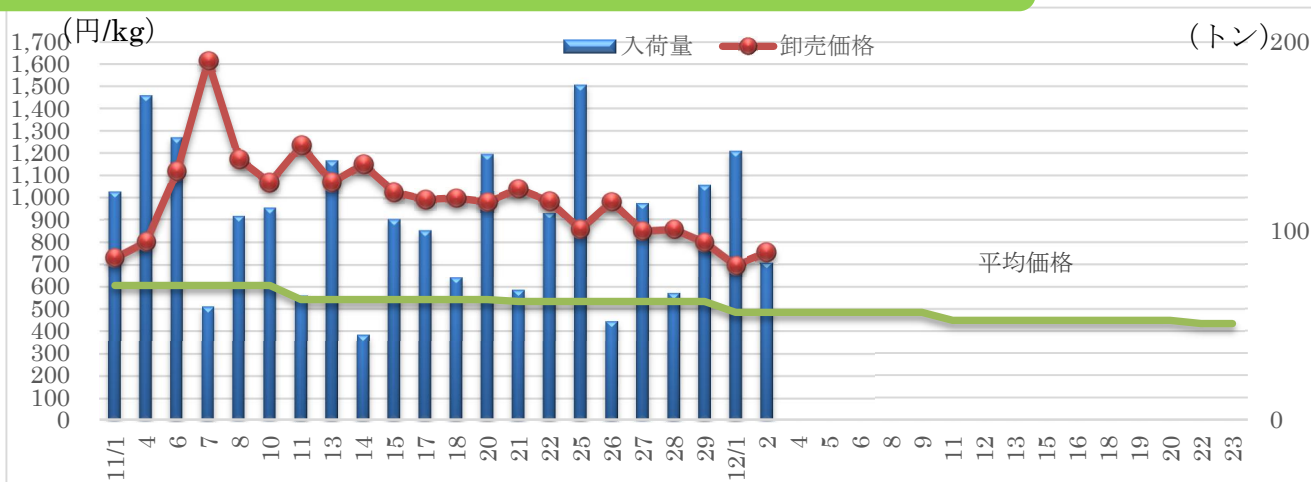
➢ 前年同月比：106%

○3,325 g/人（2024 年年間）

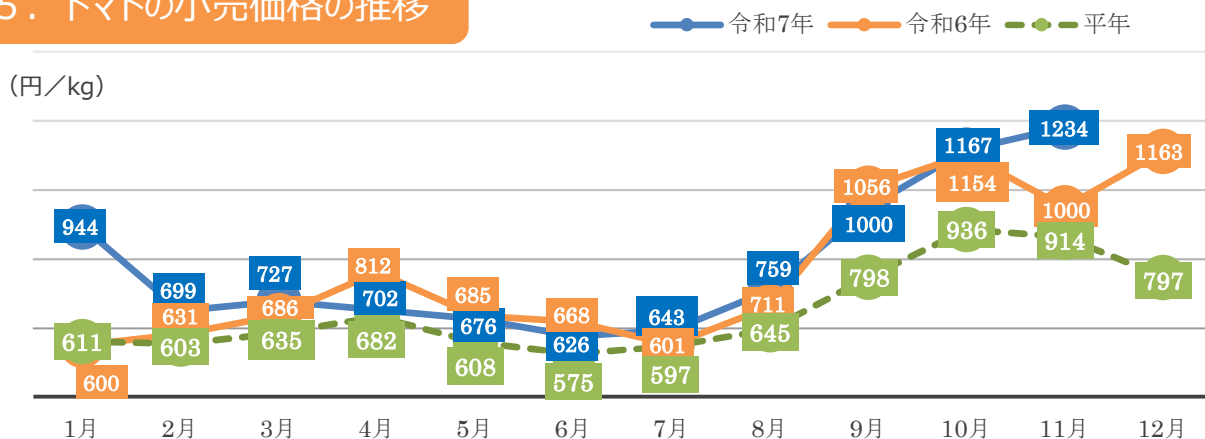
➢ 前年比：91%

（総務省統計局家計調査）

### 4. トマトの卸売価格と入荷量の推移（東京都中央卸売市場）



### 5. トマトの小売価格の推移



## 6. 主産地の生育・出荷動向

産地名	作付面積	作況	生育進度	出荷進度
栃木県栃木市 (10/17)	減少	やや良	平年並み	平年並み
石川県金沢市 (9/29)	前年並み	平年並み	平年並み	早い
岐阜県飛騨 (9/17)	増加	平年並み	早い	早い
静岡県小笠 (大玉) (9/8)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
愛知県豊橋市 (10/23)	減少	平年並み	平年並み	平年並み
三重県桑名市長島町 (10/22)	減少	平年並み	平年並み	平年並み
山口県阿東地区 (9/29)	前年並み	やや不良	平年並み	平年並み
大分県竹田市 (9/24)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み
熊本県八代 (11/19)	前年並み	やや良	平年並み	遅い
沖縄県豊見城市 (11/11)	前年並み	平年並み	平年並み	平年並み

※特記ない場合は平年比。( )内は調査日。

(機構調べ)



熊本県八代：ハウス内の様子

## 7. 向こう1ヶ月の気象情報 (12/6~1/2)

週 別 の 天 候				
12/6~12/12	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
12/13~12/19	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 西日本日本海側では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨または雪の日が少ないでしょう。 北日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 東・西日本太平洋側では、高気圧に覆われやすいため、平年に比べ晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、高気圧に覆われやすく、寒気の影響が弱いため、平年に比べ曇りや雨の日が少ないでしょう。			
12/20~1/2	北日本日本海側では、平年と同様に曇りや雪または雨の日が多いでしょう。 東・西日本日本海側では、平年と同様に曇りや雨または雪の日が多いでしょう。 北・東・西日本太平洋側では、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。 沖縄・奄美では、平年と同様に曇りや雨の日が多いでしょう。			
北日本	日本海側	平均気温 (1か月) 低20 並30 高50% 高い見込み	降水量 (1か月) 少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	日照時間 (1か月) 少30 並30 多40% ほぼ平年並の見込み
	太平洋側		少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み
東日本	日本海側	低30 並30 高40% ほぼ平年並の見込み	少30 並40 多30% ほぼ平年並の見込み	少20 並50 多30% 平年並の見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
西日本	日本海側	低20 並40 高40% 平年並か高い見込み	少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み
	太平洋側		少40 並40 多20% 平年並か少ない見込み	少20 並30 多50% 多い見込み

(気象庁1カ月予報)

## 8. 輸入動向 (生鮮トマト)

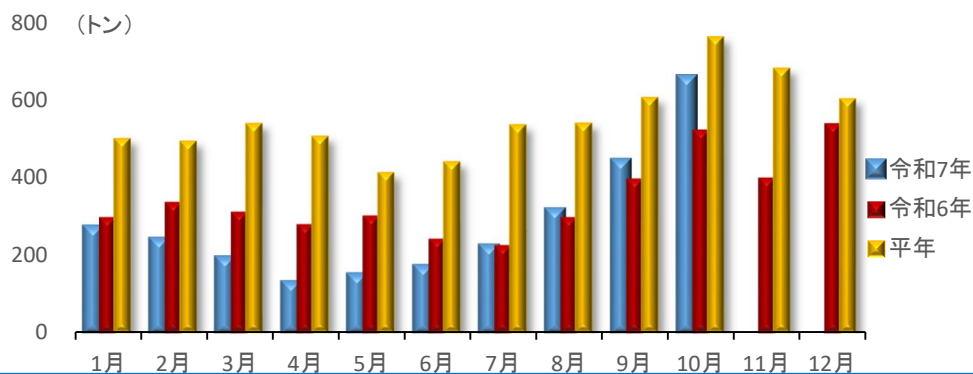
○658トン (10月輸入量)

➢ 前年同月比：127%

○輸入先国ベスト3

- 1位 メキシコ 148トン
- 2位 韓国 115トン
- 3位 米国 110トン

(財務省貿易統計)



## 9. 一口メモ

11月は、北海道や東北などが終盤となり、後続の熊本産、愛知産が夏の暑さの影響で樹勢が弱く、数量が揃わず価格は平年を大幅に上回った。

12月は、熊本産が8月の豪雨の影響でやや遅れ気味に加え、寒さで着色遅れもある。愛知産、栃木産も11月の急激な気温低下で生育不良等が見られ、出荷数量は平年を下回り、価格は平年を上回って推移する見込み。

本データは全てベジ探から入手できます。  
詳細はベジ探をご覧ください。

ベジ探：<https://vegetan.alic.go.jp/>

<問い合わせ先>

農畜産業振興機構

野菜振興部 需給業務課

Tel:03-3583-9793